

新潟大学若手教員スイングバイ・プログラム

(若手教員一括採用育成制度)

新潟大学自然科学系 ケミカルバイオロジー（生化学およびその関連分野） 助教の公募

新潟大学では、国内外の多様な分野で活躍する優秀な若手研究者を対象に、若手教員一括採用育成制度「新潟大学若手教員スイングバイ・プログラム」を実施します。この制度は、本学においてそれぞれの専門分野の研究を深めると同時に、意欲をもって異分野横断研究を展開する研究者の育成を目的としたものです。

若手教員スイングバイ・プログラムでは、分野を超えて一括公募採用を行います。各分野での専門性を中心とした1次選考、役員による総合的な観点による2次選考を実施し、採用者を決定します。採用された教員には専門分野に応じた学系等に所属するとともに、本学の研究推進を担う研究統括機構に兼務していただき、本学の新たなフラッグシップとなりうる新しい異分野融合研究の萌芽をもたらすための活動に従事していただきます。

公募分野

「環境経営学」、「新領域法学（知的財産法）」、「コーポレート・ファイナンス分野」、「作物栽培学」、「都市計画学」、「ケミカルバイオロジー」、「行動生態学」、「生命科学分野（ウイルス学分野、母子のための社会精神医学、生体組織再生工学分野、生体制御学分野、放射線技術科学分野）」、「学際的脳神経疾患研究」

募集人数

10名程度を予定

本公募はその一環としてケミカルバイオロジー（生化学およびその関連分野）担当教員を公募するものです。

1. 募集職種

助教1名（任期の定めなし）

2. 採用予定日

令和8年4月1日

3. 所属

自然科学系数理物質科学系列

ただし、担当する自然科学系数理物質科学系列で教育及び研究を行うことを基本としますが、採用時から原則として3年間、研究統括機構に兼務してスイングバイ・プログラム採用教員として活動していただきます。

4. 職務内容

[担当学部・研究科]

理学部（理学科化学プログラム）・自然科学研究科（数理物質科学専攻化学コース）・
総合学術研究科（仮称・令和8年4月開設予定）

[職務内容]

新潟大学自然科学系数理物質科学系列化学分野の生化学専門分野に所属し、理学部の学部教育及び自然科学研究科の大学院教育を担当していただきます。所属教員（現在、中馬吉郎教授が在籍）とともに、ケミカルバイオロジー、及び生化学を基盤として、核酸アプタマー、ペプチド、タンパク質を用いた疾患メカニズムの解明、ならびに創薬開発に関する研究に取り組んでいただきます。また、医療における検査・診断への展開を目指す応用研究や学内外の共同研究、地域産学連携にも積極的な方を歓迎します。ユビキタスグリーンケミカルエネルギー連携教育研究センター(UGCE コアステーション)と連携し、SDGs やライフサイエンスに関する化学教育の普及や人材育成にも貢献していただきます。

※着任後原則3年間は研究統括機構の兼任教員としてスイングバイ・プログラムに参加する。

[専門分野]

生化学およびその関連分野、ケミカルバイオロジー分野

[助教の場合の備考]

研究グループの一員として活動していただきますが、採用後、早い段階でPIとして活動していただく可能性があります。

5. 応募資格

- (1) 原則として、専門分野における博士の学位取得後10年以内の者（着任日までに学位取得見込の者を含む）
- (2) 上記の専門分野における研究実績を有し、関連する授業の担当及び研究指導ができること
- (3) 筆頭著者の論文が2編以上あること
- (4) 科研費等の資金獲得実績があることが望ましい
- (5) スイングバイ・プログラムの趣旨を理解し、意欲をもって取り組むことのできる者
- (6) 採用後、新潟市又はその近郊に居住し、業務遂行が可能な者

6. 雇用条件等

- (1) 勤務地 新潟県新潟市西区五十嵐二の町 8050 番地 新潟大学五十嵐キャンパス
- (2) 給与 年俸制（国立大学法人新潟大学新年俸制教員給与規程）、その他本学の諸規程による。
- (3) 勤務形態 ・勤務時間：基本的に専門業務型裁量労働制（みなし労働時間：1日7時間45分）。専門業務型裁量労働制を適用しない場合は、1週間の勤務時間38時間45分、1日の勤務時間8時30分～17時15分（休憩時間12時00分～13時00分）の固定労働時間制となります。
裁量労働制とするか固定労働時間制とするかは、採用時に希望を伺います。
・休日：土・日曜日、祝日、年末年始の休日等
- (4) 社会保険 文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険
- (5) 研究室の使用 有（令和8年4月1日に支給予定）

7. スイングバイ・プログラム採用教員としての兼務期間の活動

採用者には分野を越えた一括採用制度であるスイングバイ・プログラムを活かすため、着任後3年間は研究統括機構に兼務していただき、次のような活動を求めます。

- ・部局・分野を越えたネットワークを主体的に構築していくこと。
- ・構築したネットワークを活かして異分野交流活動を行い、その成果を学内外に広く発信すること。

上記の実現のため、以下のような活動等があります。

- ・採用者同期会や異分野交流会の企画・運営
- ・年に一度以上の学長・理事との意見交換会
- ・大学での教育方法に関する研修

なお、本学には次のような研究支援体制があり、積極的な活用を期待します。

- ・全学的な機器共用制度
- ・科研費等の外部資金獲得サポート
- ・定期的な異分野交流会
- ・スイングバイ・プログラムからのスタートアップ研究資金の配分
- ・その他、教育研究活動のための研修

8. 応募書類

※ JREC-IN Portal からの Web 応募を行ってください。Web 応募の難しい特段の理由が

ある場合は、郵送での応募が可能です（Web 経由で送付できない業績がある場合など）。

※ 本公募では業績リスト・外部資金獲得状況・主要論文の確認に **researchmap** を使用します。

(1) 履歴書：写真貼付のこと

※履歴書の「賞罰」の欄には、受賞、刑事罰のみでなく、学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の懲戒処分歴や、その原因となった具体的な事由について記入してください。「賞罰」の欄が無い場合は、備考等に賞罰の有無とその事由を記載してください。

万が一、経歴に虚偽の申告があった場合は、採用取消や懲戒処分となる場合があります。

(2) これまでの教育研究の概要と本学に採用された場合の教育研究の抱負について、それぞれ 1,600 字～2,000 字程度にまとめたもの

(3) 応募者について意見を聞くことのできる方 2 名の氏名・電子メール連絡先

(4) 業績リスト（査読のある専門誌論文、国際会議論文、著書、特許、学会賞等の受賞、及びその他に分けて A 4 判用紙に記載してください。また、専門誌論文には DOI と Q ランク（Q1～Q4 の別）を付け加えてください。）

(5) 科学研究費補助金等の外部資金の獲得状況（研究代表者・研究分担者の別を明記すること）

(6) 主要論文(業績)3 編以内の別刷あるいはコピー

（注 1）必要に応じて、追加書類の提出をお願いする場合があります。

（注 2）郵送の場合は、応募書類を封筒に入れ「スイングバイ・プログラム（応募する専門分野名）教員公募 応募書類 在中」と朱書の上、簡易書留または宅配便（受け取り確認ができる方法）にて 10. に示す送付先にお送りください。

(注3) 応募書類は返却しません。応募に関する秘密は厳守します。また、本公募手続きにより本学が取得した応募者の個人情報、「個人情報の保護に関する法律」に基づき適正に管理し、選考以外に使用しません。

9. 選考スケジュール

- (1) 応募締切：令和7年8月18日（月） 17時 必着
 - (2) 第1次選考：令和7年8月下旬～9月上旬 書面審査、面接審査（リモート面接の場合あり）
 - (3) 第1次選考結果通知：令和7年10月
 - (4) 第2次選考：令和7年10月～11月（予定） 役員による面接審査（リモート面接の場合あり）
 - (5) 第2次選考結果通知：決定次第、本人宛通知
- ※交通費・滞在費等の選考にかかる費用は、応募者負担とします。

10. 提出書類の送付及び問い合わせ先：問い合わせは原則として電子メールでお願いします。

- (1) 送付先：新潟大学自然科学系総務課学系庶務係
〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町 8050 番地
TEL 025-262-6823
FAX 025-262-7940
E-mail skei-shomu@adm.niigata-u.ac.jp
- (2) 問い合わせ先
新潟大学理学部 化学プログラム長 梅林 泰宏
TEL 025-262-6265
FAX 025-262-6265
E-mail yumescc@chem.sc.niigata-u.ac.jp

11. 業務内容に関する問い合わせ先：問い合わせは原則として電子メールでお願いします。

- (1) 問い合わせ先
新潟大学理学部 生物化学研究室 中馬 吉郎
TEL 025-262-6160
FAX 025-262-6160
E-mail chuman@chem.sc.niigata-u.ac.jp

12. その他

※新潟大学では、ダイバーシティ推進センター（<https://diversity.nu.niigata-u.ac.jp/>）を設置し、女性研究者支援を推進しています。

※新潟大学では、キャンパス・グローバル化の実現に向けて、グローバル対応力の高い教員の採用を推進しており、多様な言語を母語とする学生、研究者との日本語、英語を使ったコミュニケーション能力のある方の応募を歓迎します。